

○「地区の担い手を考える話し合いへ」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成30年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

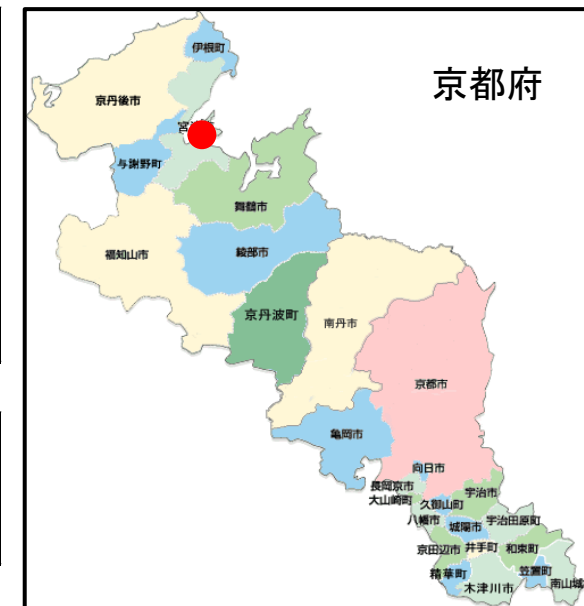
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月3日(火) 19:00～21:30
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出席者: 中島委員、市田委員、荒砂推進委員
大銅局長 ※委員3人、事務局1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がいない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 大規模農家が離農した場合、どうするのか。集落でなく地区全体として取り組むべきではないか
- 農地の受け手が課題であり、遊休農地をどうするのか調査すべき
- 問題提起の資料を集めて、継続的に話し合いをする活動を行うべき
- 農地利用状況調査説明会・農業懇談会を7月30日に開催。協力員に意見交換の項目を事前通知することで、問題意識をもって出席していただく
- 担い手に不安があり、地域としての担い手をどうするか話し合いがはじまる

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援